

- ・研究発表2. 社会教育の一分野としてのリトミック指導について
ー公民館における実践事例を中心としてー

和田 祥 恵(リトミックルーム
“スキップステップ”)

《発表内容要旨》

公民館において地域の子どもを対象にしてリトミック教室を開催し、講師を目指す研修中の方には、アシスタントを兼ねた実践の場としても提供するようになって8年目に入りました。

私がこの仕事を担当するそもそものきっかけは、音楽教室の講師としてのレッスンに納得ができず、経験を補う場として学校区の公民館を活用しようとしたことでした。

現在は、ここでの活動が拠点となり、公民館主催事業、市や県の子育て支援事業、学校・幼稚園など、さまざまな団体でリトミックの指導も徐々にできるようになりました。しかし、今後はこれらの場に確実に定着させていくための条件整備が新たな課題となっています。

そこでこれまでの活動で感じたことは、母と子の豊かな関わりにリトミックの指導が有効であること、そして参加する母親を満足させるだけの内容が必要であること。また、多くの母親が持つさまざまな悩みは、現代の社会や教育の問題に対する反映でもあり、幼い子どもを抱えた母親の悩みや相談にも耳を傾け、共に共有し合うことが必要と考えています。そこでただ単にリトミック教育を行うのみならず、広い視野の下に社会教育としての意義を踏まえ、リトミック教育の在り方や具体的な指導プランを考えて行くことが大切と考えています。

本発表では、公民館における0歳児および1歳児のための実践の一部を紹介し、指導の在り方や問題点を検討したいと思います。